

斐伊川・神戸川治水事業の推進について

【国土交通省】

提案・要望の内容

本県百年の大計である斐伊川・神戸川治水事業を推進すること。

大橋川改修及び六道湖・中海湖岸堤防の整備促進

- ・市街地整備と併せた大橋川改修
- ・環境・景観に配慮した事業の取組
- ・下流部中海地域への理解促進

ダム建設の促進

- ・志津見ダム
- ・尾原ダム

斐伊川放水路建設の促進

【現状と課題】

各事業の進捗状況

- ・志津見ダム……………進捗率71%、平成18年4月ダム本体コンクリート打設に着手
- ・尾原ダム……………進捗率51%、平成18年3月ダム本体第1期工事を契約
- ・斐伊川放水路……………拡幅部分の築堤 約8割、開削部分の開削 約5割
- ・大橋川改修……………平成16年12月「大橋川改修の具体的内容」を公表
平成17年 6月～平成18年2月 地形測量調査実施
平成17年11月「大橋川周辺まちづくり検討委員会」及び
「景観専門委員会」設立

松江市は水害に無防備な状況であり、下流部の大橋川改修について、早期に事業に着手する必要がある。

大橋川改修は、背後の市街地と一体となった事業推進が不可欠であり、従来の治水事業制度の弾力的かつ柔軟な運用や、河川空間を活用したまちづくりや景観形成に資する新たな事業の導入が必要である。

国際文化観光都市松江市の発展につながる環境・景観に配慮した河川事業の実施と下流部中海地域住民への理解促進、中海護岸整備の促進も必要である。

【本県の取組状況・方針】

ダム、放水路は事業進捗に併せ、関係市町の住民と一体となった地域活性化に取り組んでいる。

- ・尾原ダム……………「地域に開かれたダム整備」
- ・放水路……………「菌の長浜地域整備」

合意形成への関与、事業促進

大橋川改修は、松江市中心市街地に影響があるため、国及び松江市と一体となり「大橋川周辺まちづくり検討委員会」・「景観専門委員会」を設置し、治水と環境とまちづくりが調和した大橋川改修の実現に向け取り組んでいる。

【提案・要望の効果】

県都松江市を含む県東部地域の水害や濁水を防止し、県民の生命・財産を守り安全かつ安心して暮らせる県土を築くことが出来る。

大橋川改修の促進により松江市中心市街地の防災機能が大きく向上するとともに、大橋川を活用したまちづくりが進展する。

斐伊川・神戸川治水事業

流域全体の治水対策（3点セット）

斐伊川治水3点セット

下流部の大橋川改修と中海・宍道湖湖岸の整備
中流の斐伊川放水路の建設と斐伊川本川の改修
斐伊川と神戸川の上流にダムを建設



・ 上流部の2つのダム、中流部の放水路は、順調に進捗中



志津見ダム・尾原ダム 平成22年度末 完成
斐伊川放水路 平成20年代前半 完成予定

・ 下流部の大橋川改修の早期着工

大橋川の現況

